

思い出を共有 雑松の仲間たち

雑松

第37号



平成18年3月10日

雑松会

大阪教育大学
附属天王寺小学校
〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
1丁目2-45
TEL. 06(6621)0123

<主な記事>

- ◆名譽会長・会長挨拶……………1面
- ◆附小NOW……………2面
- ◆同窓会名簿発刊のお知らせ……………3面
- ◆第30回総会・懇親会……………4、5面
- ◆同期会報告……………5面
- ◆近況報告エトセトラ……………6面
- ◆同窓生の活躍……………7面
- ◆年会費納入者一覧……………8面



名譽会長
松会育大
大阪教天
附属王寺小
学校校長
藤永 芳純

昨年十二月十七日(土)夕方、私は高等学校時代の恩師を囲む会に出席するべく広島に立った。少し早めに広島駅に到着し、学生時代に交わったように路面電車に乗り、美奈華街(美川、本通り、八丁堀あたり)界隈を散歩した。学生時代は

経済的にゆゆしくなかったのが常であった。「コンパ(飲み会)をやるには、学生相手の商売をして、安く店を安く飲んだ。久しぶりにキョロキョロしながら歩いてみると、全く

友愛の条件とは

経済的にゆゆしくなかったのが常であった。「コンパ(飲み会)をやるには、学生相手の商売をして、安く店を安く飲んだ。久しぶりにキョロキョロしながら歩いてみると、全く

経済的にゆゆしくなかったのが常であった。「コンパ(飲み会)をやるには、学生相手の商売をして、安く店を安く飲んだ。久しぶりにキョロキョロしながら歩いてみると、全く



雑松会会長
(昭和31年卒)
錢高 一善

福沢諭吉は自著「文明論の概略」で「一身にして一生を経る」と自身の体験を表した言葉を残されています。この言葉は、諭吉が封建(江戸)時代から明治維新へと開国から開化された時代に生きてきた中で、自分の身体は一つだけれども、二つの人生を体験したと記したものです。これを昭和十九年生まれの私が、附属天王寺小学校

を昭和二十一年に卒業したことに照らし合わせて考えますと、大正時代終結後の進歩と高揚の中で小学校時代を過ごした日本は後進国であるという概念の中をいつか「欧米のように入道国に追い付く」という急進な精神で進み、幼稚や弱弱しい、進歩など世界に優秀な能力と優秀な

一身にして二生を経る

「このように私も、正に日本が後進国から先進国の一歩手前まで近づいていった激動の時代を体験しました。この間、家庭には洗濯機やテレビが普及し、日中は「ホーム」や「マイカ」まで

「このように私も、正に日本が後進国から先進国の一歩手前まで近づいていった激動の時代を体験しました。この間、家庭には洗濯機やテレビが普及し、日中は「ホーム」や「マイカ」まで

勤勉な労働者を得ることによって日本は世界的にも工業大國として先進国に肩を並べようになり、そして同時の間に紡績はそれまでの先進国を凌駕し、弱電器においても松下電器やソニーのものが世界に冠する企業が生まれ、重厚長大と云われる石油化学等の世界に拓きましても世界を誇

て持つことができる時代へと入っていったわけであり、現在、日本はアジアの国々から先進国と言われようになり、それは、それは逆に中国やインドなどの国々から追い上げられて

世界の国々とのかわりや価値観の多様化と急速に変化する時代背景の中で、福沢諭吉の「一身にして二生を経る」にふさわしい、私自身が現在の高度情報化社会で携帯電話やパソコン等の進化のスピードを実感

出直しの人生を体験する。若い時代を自覚的に過ごすこととあると考えます。福沢諭吉よりも自分は幸せであるという思いも、それだけに自分自身の個性や思想というものを感じ取り持つといえなければ、福沢諭吉のように人間にならなってしまうのではないかと、不安と向き合う一方、自分を感じていこうか。

雑松会
会員名簿第12版
平成18年11月
6年ぶりの発刊迫る!
どしどしご予約を!
詳細は3面に

雑松会 ジュニア会のご案内
★平成11年卒～平成18年卒の人
日時 平成18年3月27日(月)
AM10:00～12:00
場所 母校(附属天王寺小学校)
内容
◎議事 恩師や友人とのなつかしいお話、運動場でのスポーツ、楽しいお店も開きます。
◎アトラクション
◎年次毎の同窓会

大切に使ってネ! 第125期卒業生に記念品贈呈

今年はカレンダー内蔵電卓時計



(株式会社 三星堂 謹製)

雑松会では、毎年卒業生に記念品を贈呈しているが、本年度第一二五期卒業生には、写真の「ワールドトラベラーズ」カレンダー内蔵電卓時計を贈ることになり、三月十七日の卒業式当日に、卒業生全員に手渡される。

どしどしご予約を!

販売予約開始



定価3,000円

平成18年 11月発刊予定

雑松会 会員名簿 第12版発刊のお知らせ

「ご希望の方は同封の払込用紙(名簿用)にてお申し込み下さい。出来次第お送りさせていただきます。尚、卒業年・会員コードナンバーを必ずお書き下さい。」

幹事会報告

- 第一回 平成十七年六月三十日(木)
出席者数 十八名
議題 総会・懇親会の反省
- 第二回 平成十七年十一月二十五日(金)
出席者数 十七名
議題 会報、会員名簿発刊
卒業記念品の件
- 第三回 平成十八年二月十七日(金)
出席者数 二十三名
議題 名簿の件、新年会
- 第四回 平成十八年三月二十二日(水)
(予定) 議題 名簿発刊の件



がんばってます!級友たら

(1) 昭和27年11月26日第3種郵便物認可 発行所 読売新聞社 2005年



大阪市長に再選を果たしたバンダイの関淳一さん(左は妻の洋子さん)＝27日午後9時10分、大阪市中央区の事務所で

当 278,914	関 淳一	無所属
189,193	辻 恵	無所属
165,874	姫野 浄	無所属
46,709	松下 幸治	無所属
(四角囲みは推薦政党)		

大阪市長選は27日、投票が行われ、無所属の前市員の松下幸治氏33の無所属の新人3人を破り、再選した。関氏の得票数は195万1年以内の同市長選の当選者としては最低となった。

産党市議員長の姫野浄氏(70)も再選した。関氏は中央区の事務所での市民の信任を得たとの認識を示した。

関氏はさらに「改革はこれから実行段階。市民には後押ししてもらえると確信している」と強調。職員厚遇問題で失った市民の信頼の回復などを自指し、市が職制新採用の5年間凍結などを盛り込んだ9月に公表した「市政改革マニフェスト」案を即座に実行に移す考えを示した。2人が空席の助役については「民間的な発想が必要で、外部から登用する意向を表明した。関氏は10月18日に「改革

大阪市長に関氏再選

「改革マニフェスト実行」

投票率33.92%

昨年11月25日夜、雑松幹事会が開かれ、同時間帯に天王寺区で関さんの激励会が行われたので、幹事数名で駆け付け、雑松会を代表して駒井香鶴さん(旧姓春田・昭和47年卒)が激励の花束をお渡しした。

関 淳一さん (昭和23年卒)

大阪市長に再選果たす

読売新聞 平成17年11月28日

平成17年

会 総 懇 親 会

松 会 雛

第30回

♪——(°▽°)——♪!! ♪——(°▽°)——♪!! ♪——(°▽°)——♪!! ♪——(°▽°)——♪!!

4月2日

雛松会 総会・懇親会



藤永校長(挨拶)

雛松会 総会・懇親会



銭高会長(挨拶)

学友、恩師...大集合



回 雛松会 総会・懇親会

酒井先生のご発声で乾杯



副校長・藤永校長・銭高会長・元校長 前田先生



岸本幹事から「甥の松」復活についての報告



金森副会長のご発声で中締めの万斉三唱



中野先生がスライドで学校の近況を報告

「いつまでも、どこまでも、附属天王寺小学校」

若葉に陽光鮮やかな平成十七年四月二日(土)、午後六時より都ホテル大阪(天和の間)にて第三〇回雛松会総会・懇親会を盛大に催すことが出来ました。当日はやや遅い開始時間にもかかわらず、多くの女性の方々にもご出席頂く事が出来ました。学校長をはじめ現役の先生方、ごほれ会の恩師の先生方にも多数ご出席頂き、昭和十七年卒業生による同期会もあわせて行われたこともあり、平成十三年度の二二〇周年記念総会に先駆け

「いつまでも、どこまでも、附属天王寺小学校」の紹介されました。現附属の先生方、教育後援会の皆様、そして雛松会の方々の「尽力の賜物であります。会食の進む中、雛松会幹事の岸本先生から、附中の思い出、附中の新しいシンボルであり「甥の松」

昭和五十三年卒 西村 泰彦
 が、とりあえずは一次会は終了ということで、校歌そして今回は、あの懐かしい運動会の歌、PTAの歌を酒井先生のタクトのもと声高らかに全員で斉唱し、金森順次郎副

会長のご発声による万成三唱で終宴となりました。その後は、先輩後輩のグループや同期会での次会・三次会となったのは、いつまでもありませぬ。今回の学生の同期会はありませぬでしたが、見えておりま



87期生 (昭和43年卒) 平井健三郎

当日は、懐かしい写真などを事前にパソコンに取り込む等の準備を行い、プロジェクターに映し出される音の自分や、仲間たちの姿、変りながら大賑わいになりました。我々八十七期生は、本年で満五十八歳の節目にあたり、三十八年のタイ

さらして

去る平成十七年九月十七日(土曜日)に、変更がりに大賑わいになりました。我々八十七期生は、本年で満五十八歳の節目にあたり、三十八年のタイ

平成17年度

年会費納入者氏名

(平成18年1月末現在・敬称略)

◎平成17年度も多くの方々から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。

◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思いますが。お気付きの方は雑松会事務局までFAXにてご連絡ください。(FAX 06-6771-6116)

◎平成17年度の会費は別記のようになっております。重ねてご協力をお願いします。

- 特別賛助会員**
 藤原 啓教・大西 英子・山本 朝郎・前田 力・荒川 聡・柴谷 一雄・辻本 節子・吉川 敏彦・吉妻 一博・秋田 光哉
- 賛助会員**
 大井 正忠・岸本 明一郎・前田 哲夫・西井 隆晴・清原 誠・堀田 由子・若岡 誠・坂倉 久紀・高橋 尚・吉本 光市・坂中 良郎・大橋 文夫
- 大正15年卒**
 西野 英子
- 昭和4年卒**
 河野 通男・近藤 初夫
- 昭和6年卒**
 伊賀 国夫・長馬 美郎
- 昭和7年卒**
 村上 信幸・長谷 龍子・大野 敏夫
- 昭和8年卒**
 大井 正忠・大坂 芳文・野村 芳博・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和9年卒**
 吉野 鉄吾・大木 通子・津野 敏子・中川 愛子
- 昭和10年卒**
 武蔵 敏夫・大野 敏子・川村 正一・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和11年卒**
 清原 誠・北 富美子・津野 敏子・大西 英子・柴谷 幸子・山田 本子
- 昭和12年卒**
 河野 敏彦・高橋 忠夫・山本 朝郎・堀田 由子・伊賀 国夫・堀田 由子・吉野 鉄吾・大野 敏子・川村 正一・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和13年卒**
 吉野 鉄吾・津野 敏子・川村 正一・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和14年卒**
 大井 正忠・大坂 芳文・野村 芳博・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和15年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和16年卒**
 藤原 啓教・大西 英子・山本 朝郎・前田 力・荒川 聡・柴谷 一雄・辻本 節子・吉川 敏彦・吉妻 一博・秋田 光哉
- 昭和17年卒**
 大井 正忠・大坂 芳文・野村 芳博・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和18年卒**
 大井 正忠・大坂 芳文・野村 芳博・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子

- 昭和19年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和20年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和21年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和22年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和23年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和24年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和25年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和26年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和27年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和28年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和29年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和30年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和31年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和32年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和33年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和34年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和35年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和36年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和37年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和38年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和39年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和40年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和41年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和42年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和43年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和44年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和45年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和46年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和47年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和48年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和49年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和50年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 昭和51年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子

- 平成9年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 平成10年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 平成11年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 平成12年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 平成13年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 平成14年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 平成15年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 平成16年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子
- 平成17年卒**
 伊賀 国夫・堀田 由子・高橋 尚・清原 誠・吉田 誠・堀田 由子

雑松会会計平成16年度収支計算書

平成16年4月1日～平成17年3月31日
会計科 森田 出雄

区分	金額	内容	金額
年費・賛助会費	2,038,960	郵便払込	703,000
		直接納入	4,000
収入計	2,042,960		
支出	2,042,960		
・平成16年3月卒業生 新会員入会金、年会費	600,000	入会金	3,000円 × 120名 = 360,000円
・積立金利息	1,600	年会費	2,000円 × 120名 = 240,000円
		定期積立金利息	1,504円
		1年定期	0円
		3ヶ月定期	0円
		普通積立金利息	16円
		(口座番号 112670)	
収入計	2,640,960		
前年度からの繰越金	7,404,023	定期積立金	6,592,326円
		(口座番号 2058871)	0円
		普通積立金	499,241円
		(口座番号 112670)	
		郵便口座	277,000円
		現金	45,458円
支出計	10,044,983		
・雑会費	246,363	ジュニア会補助、幹事会	246,363円
・食料印刷費	1,368,725	第36号会報印刷代、他	677,720円
		第36号会報印刷代、他	691,005円
・郵便費	600,092	会報、案内状、名簿等郵便費	600,092円
・名簿訂正費	395,370	株式会社廣済堂	395,370円
・記念品	161,595	相三記念	161,595円
・事務用品	3,984	事務処理費、ファイル代他	3,984円
・雑費	27,640	雑費	27,640円
・その他	20,315	納の保証金等	20,315円
支出計	2,630,070		
次年度への繰越金	7,214,913	定期積立金	6,593,910円
		(口座番号 2058871)	0円
		普通積立金	2,015,215円
		(口座番号 112670)	
		現金	394円
		前年度(平成17年度会費)	-1,385,000円
		郵便口座	20,000円
		合計	7,234,519円

会計監査員 酒井 菜穂

平成18年度年会費について

- 同封の払込用紙をご利用下さい。
 - 30才以上の正会員の方は3,000円です。
 - 30才未満の正会員の方は2,000円です。
- さらにご協力をお願いいただけます方には、賛助会費・特別賛助会費を設けております。よろしくお願いたします。
- 賛助会費は5,000円、特別賛助会費は10,000円です。
 - 平成17年度卒(平成18年3月卒)の方は全員年会費を別途いただきますので、払込みは不要です。
 - 同封の年会費払込用紙には、会員番号が印字されていますので、ご確認下さい。(氏名右下バーコード横の7桁の数字)
- 〇〇〇-〇〇-〇〇 (例、昭和50年卒6年3組40番の方)
 明治1年卒年 フラス 出番番号 350-03-40
- 通信欄に近況報告等をお書き下さい。会報次号でご紹介します。
- 郵便振替 大阪 00960-2-27966 雑松会宛

附小ホームページ 母校の最新情報満載

http://tensho.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/